

2025年5月10日

人権ネットワーク八幡 総会号

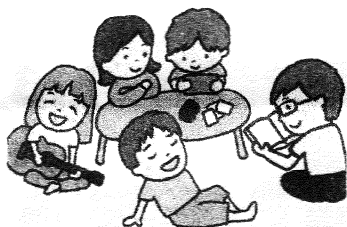
事務局 〒523-0857 近江八幡市八幡町170(旧八幡教育集会所内)
電話 【携帯】 080-2525-7114(高坂)
【メール】 Tko_koj1224@yahoo.co.jp

2024年度「人権ネットワーク八幡」の足跡

- 5月 愛知県人権啓発企業連現地研修 (5/30)
6月 近江八幡市職員新任研修 (6/19・26)
八中校区新転任者研修① (6/27)
7月 八幡小学校教職員人権研修 (7/24)
近江八幡青年会議所レザークラフト教室
(市文化会館) (7/27)
8月 豊郷隣保館夏休みレザークラフト教室
(8/8)
八中校区新転任者研修② (8/23)
10月 大阪退職教職員研修 (10/12)
11月 愛知犬上人権教育推進協議会現地研修
(11/15)
草津市・常盤民生委員協議会人権研修
(11/21)
2月 北里小学校6年生レザークラフト教室 (2/20)
3月 日本基督教団京都教区部落解放センター若者広場現地研修 (3/6)
J R線人権啓発推進連絡会現地研修 (3/19)



＜JR線人権啓発推進連絡会研修にて＞



- * 毎週水曜日(午前)、金曜日(午後)レザークラフト教室
- 毎週水曜日ワールドアミーゴクラブ放課後学習教室
- 毎週土曜日(夜)八幡地域青年会定例会
- 毎月1回(第3水曜日)おいでえな食堂(子ども食堂)
- 毎週木曜日(15:00)人権ネットワーク八幡事務局会
- * 随時: 帰国者華人連合会踊りの会

＜人権ネットワーク八幡 2024年度 会計報告＞

2024年度の人権ネットワーク八幡の会計決算報告を本紙面を借りて、概略ですが、みなさまにご報告いたします。

収入の部 ○会費収入=31,3万円(団体5口5万円、個人263口26,3万円)

※昨年比 +1万円

○寄付・支援金・雑収入=35,3万円

(解放同盟支部支援金、講師謝金カンパ、預金利息等)

※昨年比 -34万円

合 計 66,6万円 ※昨年比 -33,1万円

支出の部 ○活動費=11,4万円(会報・資料印刷代、郵送費、事務備品費、食糧費他)

※昨年比 +0,4万円

○事務所維持費=46,1万円(事務所部屋代・電気代・電話代)

※昨年比 +0,1万円

合 計 57,5万円 ※昨年比 +0,5万円

決算の部 (収入) 66,6万円 - (支出) 57,5万円 = 9,1万円(実額91,227円)

※今年度残金91,227円 + 前年度繰越金1,507,289円 = 1,598,516円

残金1,598,516円を2025年度人権ネットワーク八幡会計に繰り越します。

2025年5月10日 人権ネットワーク八幡 会計 安田晴彦

12年間のあゆみ(2013~2024)

人権ネットワーク八幡を発足してから、自主事業や加入団体の催しなどを旧八幡教育集会所で実施しましたが、中心的な活動となったのは人権・部落問題研修の受け入れでした。様々な団体からの研修依頼や講師依頼などがあったのですが、実績は以下の通りです。

①研修受け入れ回数

	人権関係団体	企業	行政	学校	宗教・NPO団体/その他	合計
2013年	0	0	7	5	1	13
2014年	4	1	13	2	2	22
2015年	0	0	7	10	3	20
2016年	7	0	3	3	5	18
2017年	1	1	5	2	2	11
2018年	2	1	2	0	2	7
2019年	1	1	5	4	4	15
2020年	2	1	3	1	0	7
2021年	7	0	10	3	3	23
2022年	0	1	7	3	0	11
2023年	4	0	7	6	2	19
2024年	2	3	7	1	1	14
合計	30	9	76	40	25	180

②地域別受け入れ回数

近江八幡市 100 県内(市外) 65 他府県 15 計 180件

③近江八幡市内の研修の内訳

保育・小学校	26	小・中・保幼	33
教育関係 中学校	6	市役所	35
係 保幼	1	人権団体・NPOなど	19
学校教育課	3	コミセン・子どもセンター	10
生涯学習課	15	青年会議所	3
市行政/総務部人事課	8	合計	100
教委 人権市民生活課	6		
福祉子ども部	3		
コミセン・子どもセンター	10		
人権団体・NPOなど	19		
青年会議所(JC)	3		
合計	100		

研修内容で人気が高かったのは、地域内のフィールドワークとレザークラフト体験でした。

大規模改良事業の町を歩き、地域の人々の願いや過去と現在を結ぶ町づくりを実感していただけたと思っています。

また、八幡靴の町をレザークラフト体験を通して学んでいただきました。革靴づくりの伝統は、過去のものとなりつつありますが、新たな継承者の誕生が望まれています。

